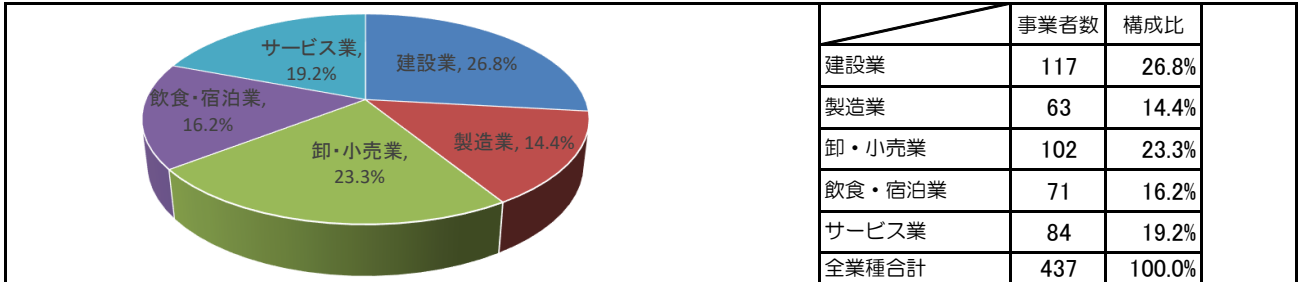


十日町市地域 企業景況調査 第1四半期報告書 (R2.4.1~R2.6.30) 川西地区

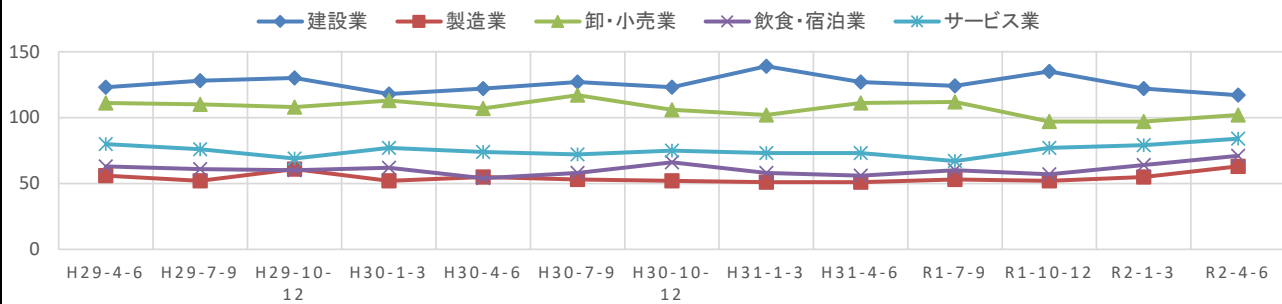
小規模事業者以外含む全事業所

◇ 調査対象事業所構成割合

<十日町市内全体>



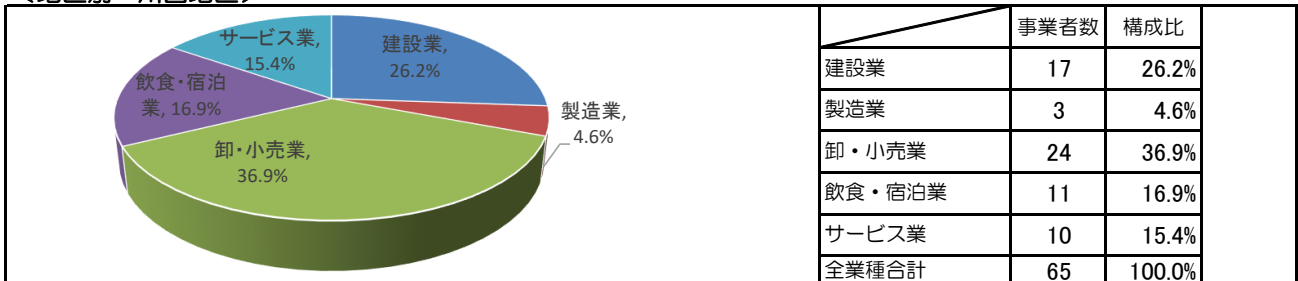
業種別調査事業所数の推移(市内全体)



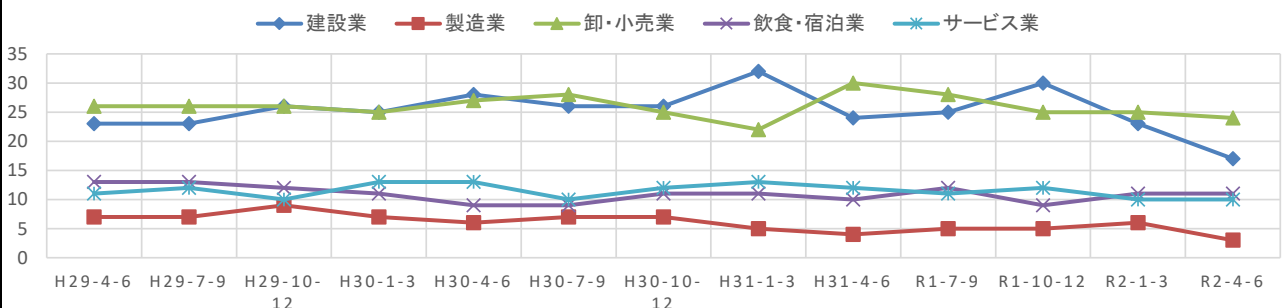
<コメント>

今回の調査から、十日町商工会議所と十日町市内5商工会地区のデータを統合して集計することとなり、前回までの調査よりも多くのサンプル数が得られている。業種も大きなバラツキのない構成割合となっている。

<地区別：川西地区>



業種別調査事業所数の推移(地区)



<コメント>

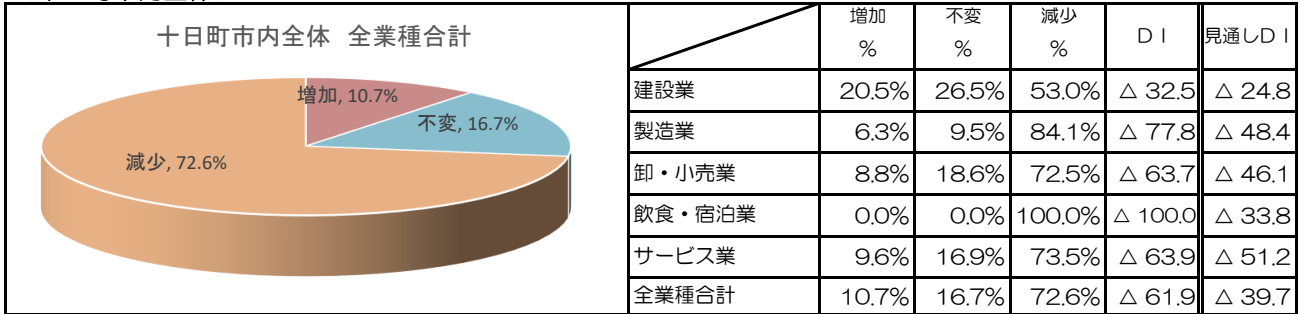
川西地区の業種割合は商工業者100社を対象に調査依頼をし、65社(回収率65%)からの回答を基にした集計結果である。製造業の割合が少ないものの、これまでの調査対象事業所数と同様の数値である。

$$DI \text{ 値 (景況判断指数)} = (\text{増加} \cdot \text{好転などの回答割合}) - (\text{減少} \cdot \text{悪化などの回答割合})$$

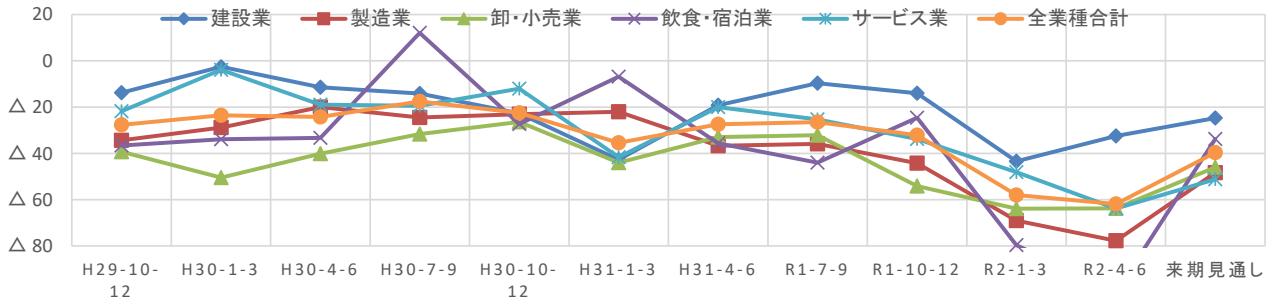
1. 売上について

- ・4月～6月の売上は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



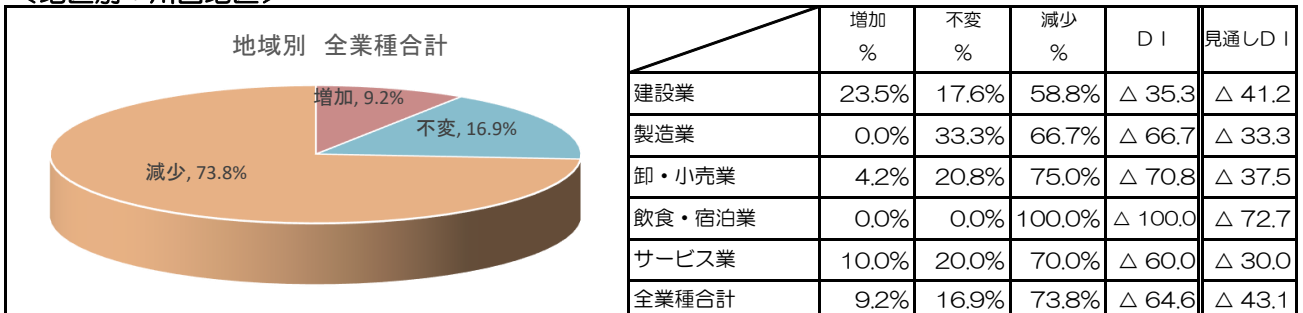
業種別売上の推移(市内全体)



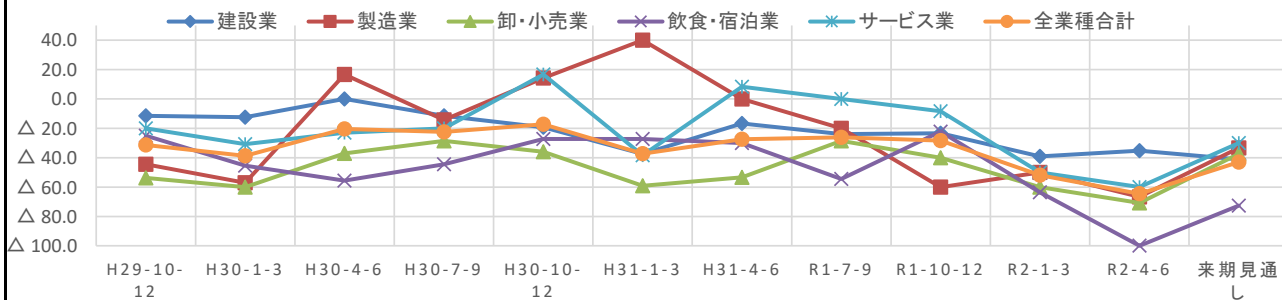
<コメント>

十日町市内全体の今期の売上状況は、全業種DI値で△61.9ポイントで、前回調査時よりも3.9ポイント減少であった。建設業にて10.9ポイントの増加となっているが、製造業、飲食・宿泊業、サービス業で大きく減少している。特に飲食・宿泊業は、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けており、△100ポイントと、過去に無い数値を示している。

<地区別：川西地区>



業種別売上の推移(地区別)



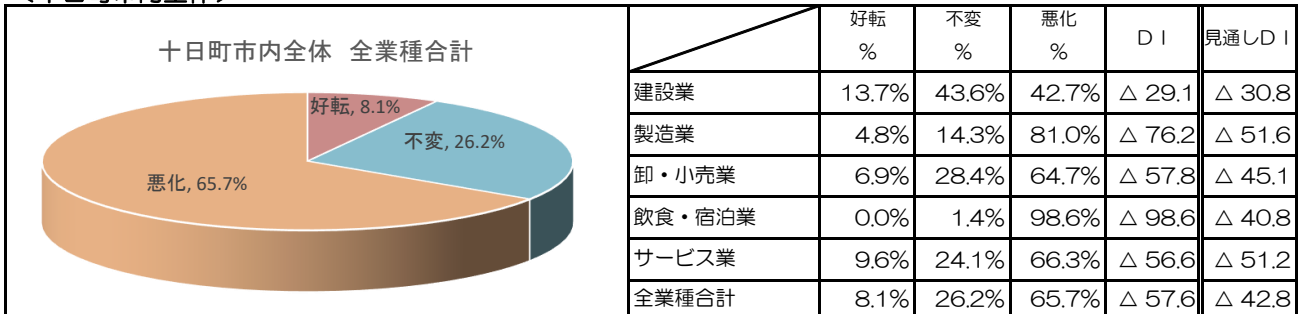
<コメント>

川西地域の売上は業種全体で前年同期と比較して△64.6ポイントの減少となっている。コロナウィルスの影響により、全業種で売上が減少している。来期の見通しでは全業種で21.5ポイントの回復を予想している。

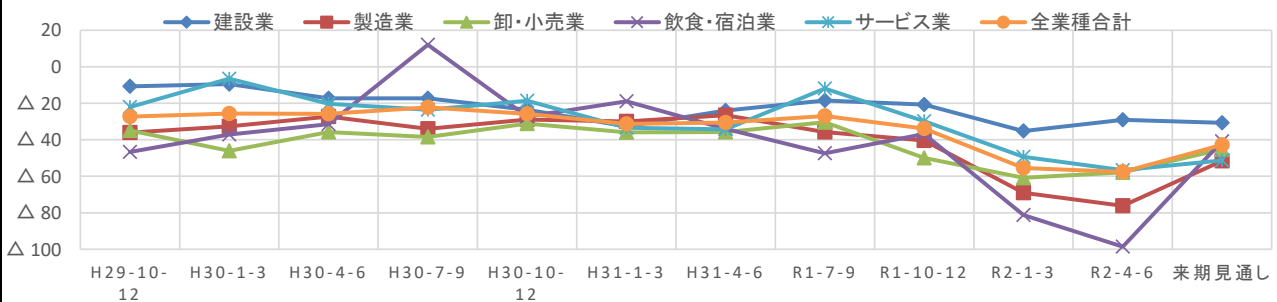
2. 採算について

- ・4月～6月の採算は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



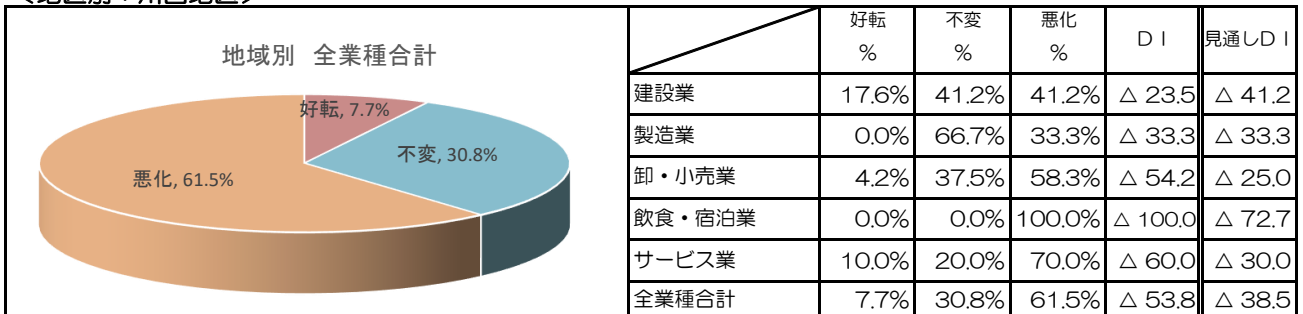
業種別採算の推移(市内全体)



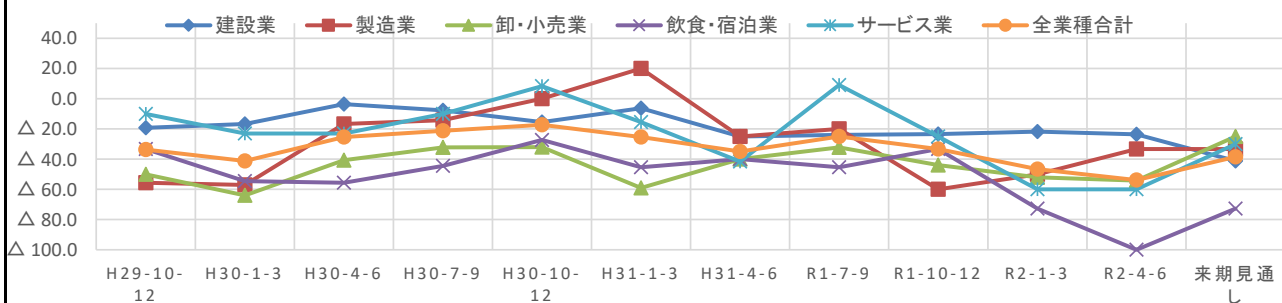
<コメント>

十日町市内全体の今期の採算状況は、全業種DI値で△57.6ポイントで、前回調査時よりも2.2ポイントの悪化となっている。業種別採算状況も売上状況と同様で、製造業、飲食・宿泊業、サービス業にて悪化が示されている。ただし、来期見通しにて今期よりも好転予測されている業種が多く、今後の動向に注視したい。

<地区別：川西地区>



業種別採算の推移(地区別)



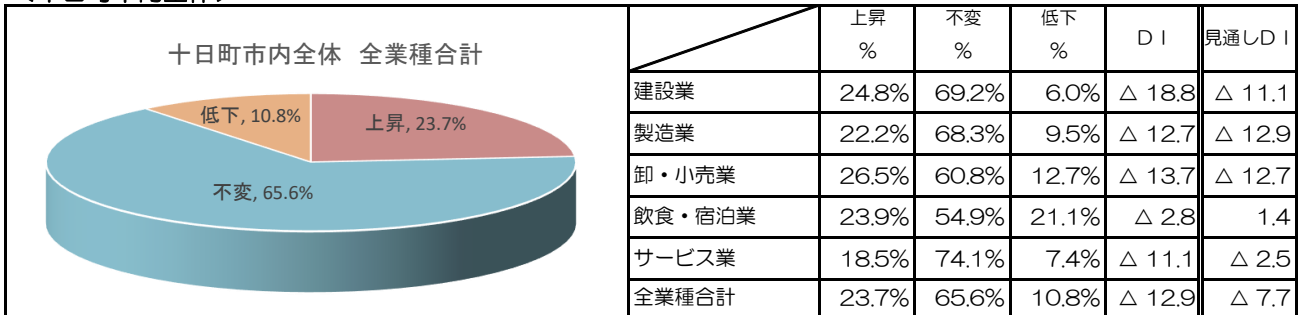
<コメント>

川西地域の採算性は前年同期と比較し、全業種で△53.8ポイントの悪化となっている。建設業及び製造業は比較的減少幅は少ないが、その他業種では大きな悪化が示されている。来期見通しでは15.3ポイントの回復を見込んでいる。

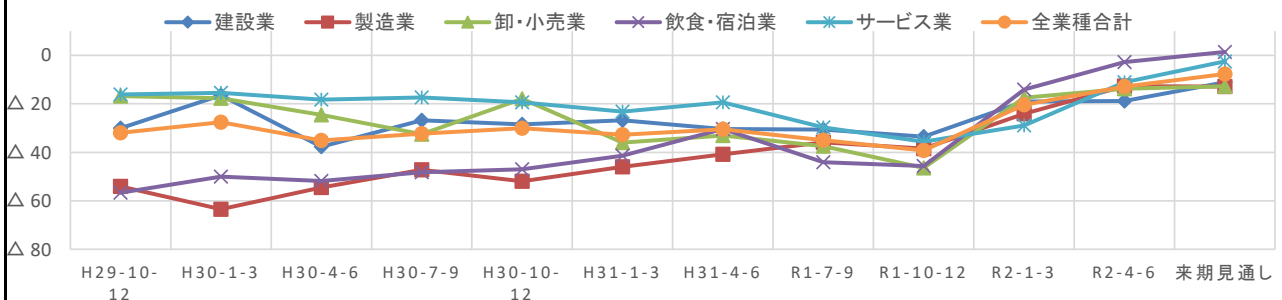
3. 仕入単価について

- ・4月～6月の仕入単価は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



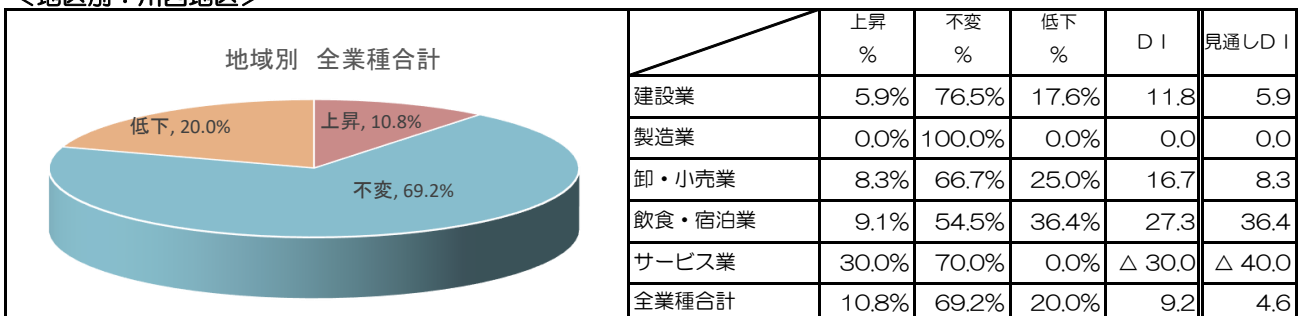
業種別仕入単価の推移(市内全体)



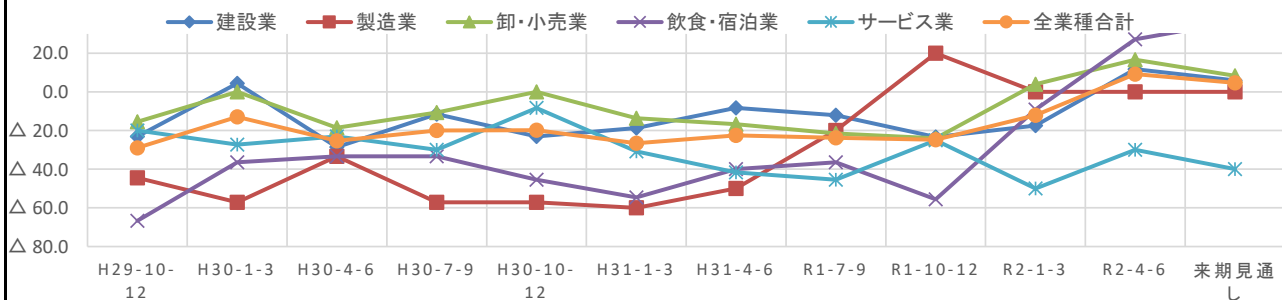
<コメント>

十日町市内全体の今期の仕入単価状況は、全業種DI値で△12.9ポイントで、前回調査時よりも7.5ポイント低下であった。不変回答が多いものの、ほぼ全業種で低下となっており、来期見通しにおいても今期よりも低下するものと予測されている。

<地区別：川西地区>



業種別仕入単価の推移(地区別)



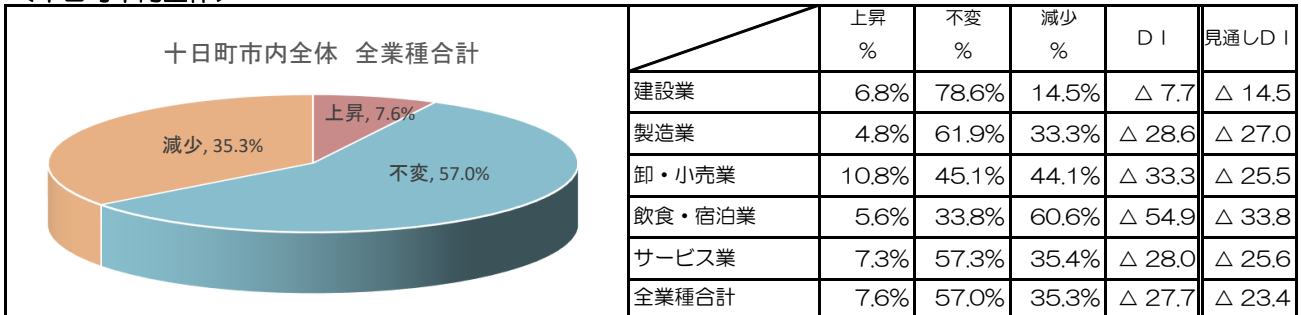
<コメント>

川西地域の仕入単価は前年同期と比較して、9.2ポイントの上昇を示しており、特に飲食・宿泊業における仕入単価の上昇が大きくなっている。一方でサービス業では前回調査で単価が上昇傾向となっていたが、今回においては△30ポイントの減少を示している。来期見通しでは△4.6ポイントでの仕入単価の軽減が見込まれている。

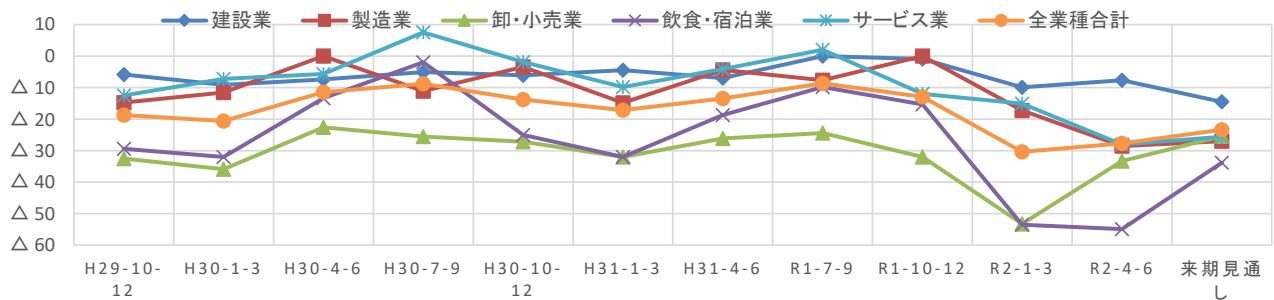
4. 販売（客）単価について

- ・4月～6月の販売（客）単価は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



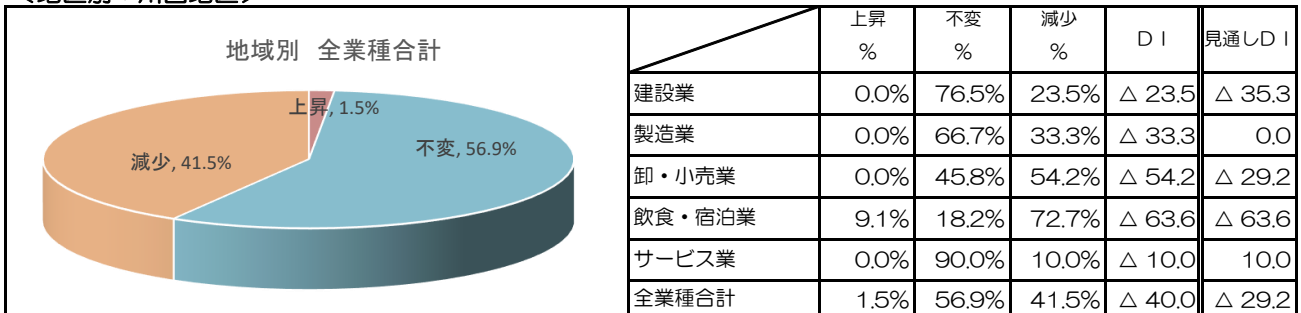
業種別販売（客）単価の推移（市内全体）



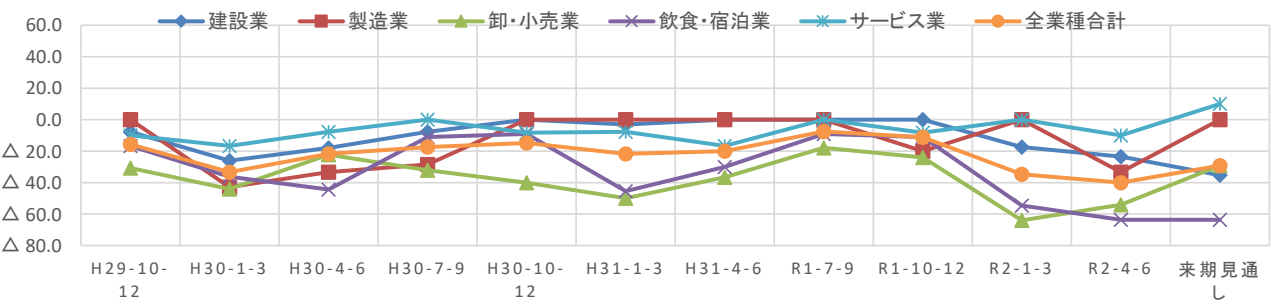
<コメント>

十日町市内全体の今期の販売（客）単価の状況は、全業種DI値で△27.7ポイントで、前回調査時よりも2.7ポイント上昇であった。卸・小売業にて20.0ポイント上昇が見られ、新型コロナウイルス感染症の関係で「ステイホーム」が実施されたことがこのような結果となっているものと推測できる。飲食・宿泊業で厳しい状況がうかがえるが、来期見通しの上昇予測に期待したい。

<地区別：川西地区>



業種別販売（客）単価の推移（地区別）



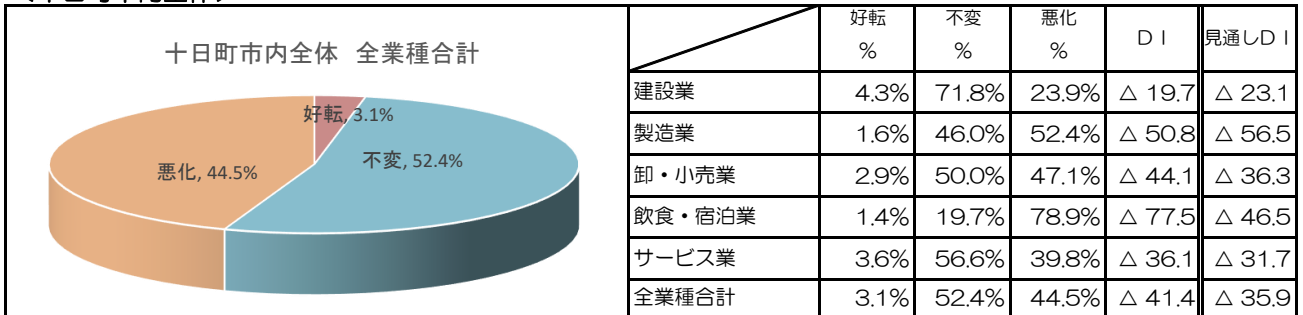
<コメント>

川西地域の販売単価は前年同期と比較して△40.0ポイントの悪化となっているが、卸・小売業と飲食・宿泊業において大きなマイナスを示している。来期見通しでは10.8ポイントの改善が予想されている。

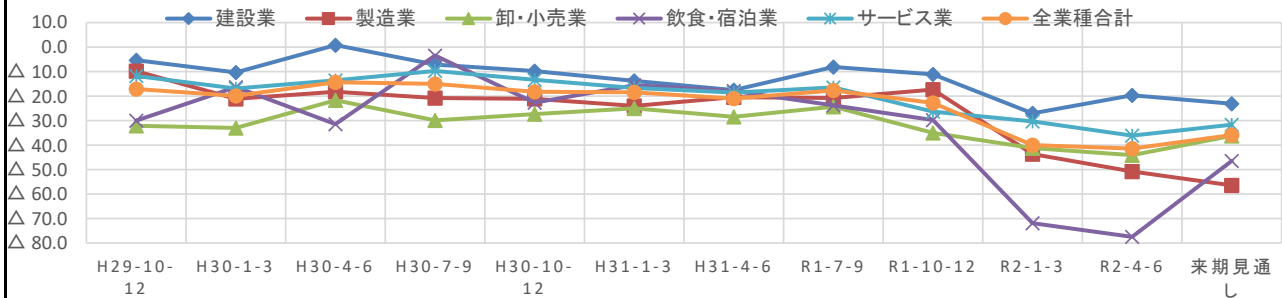
5. 資金繰りについて

- ・4月～6月の資金繰りは前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



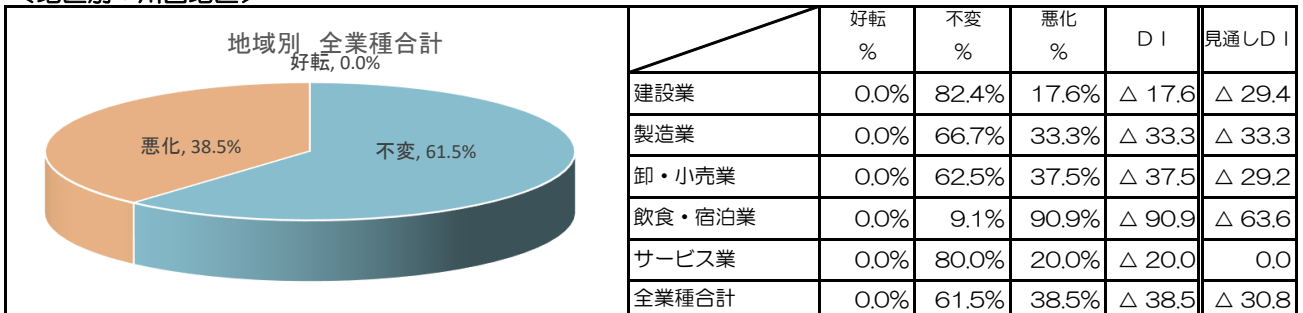
業種別資金繰りの推移(市内全体)



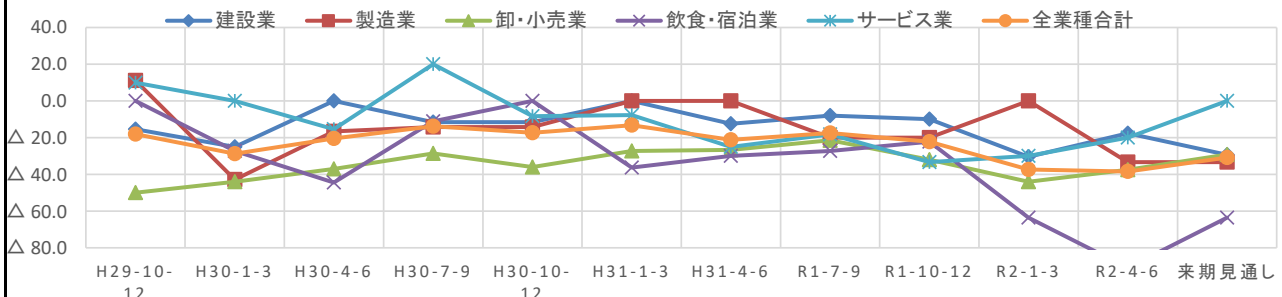
<コメント>

十日町市内全体の今期の資金繰り状況は、全業種DI値で△41.4ポイントで、前回調査時よりも1.3ポイントの悪化であった。業種別では売上状況と同様で、建設業で好転となっているがその他の業種で悪化が示されており、特に飲食・宿泊業にて大きなマイナスポイントが続いている。来期見通しの回復予測に期待したいところである。

<地区別：川西地区>



業種別資金繰りの推移(地区別)



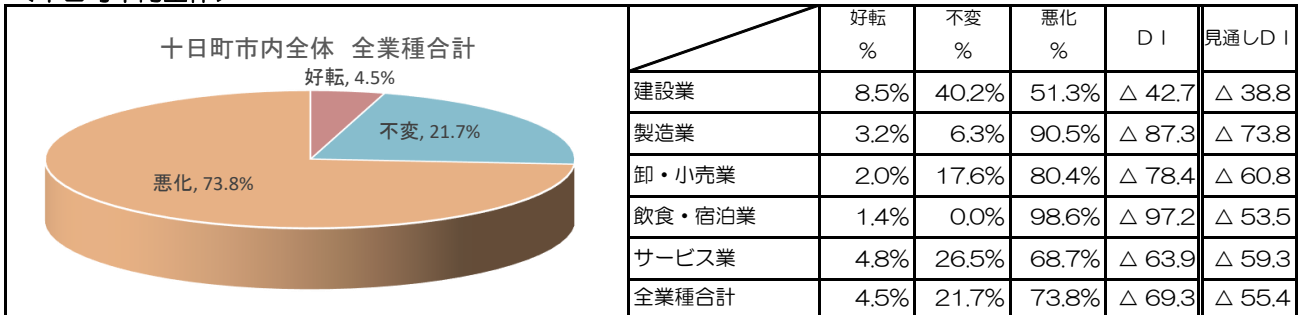
<コメント>

川西地域の資金繰りは△38.5ポイントの悪化であり、全体的に悪化との回答が多い中、飲食・宿泊業では回答事業所の9割近くが資金繰り悪化を示した。来期見通しは7.7ポイントの改善を予想している。

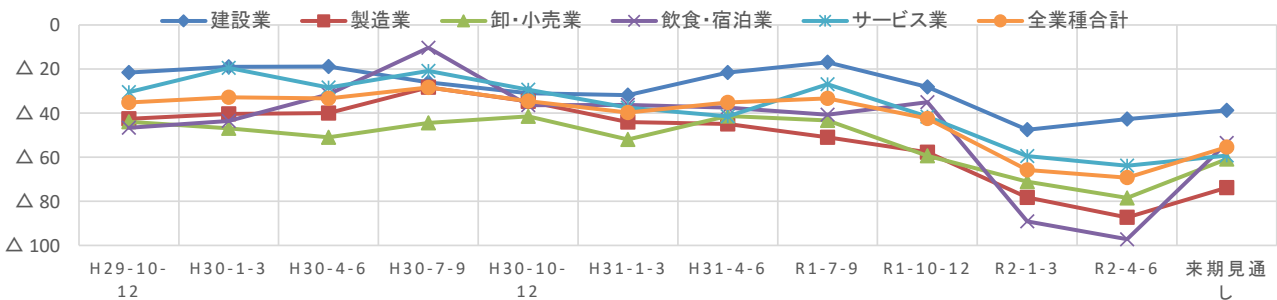
6. 景況判断について

- ・4月～6月の景況は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



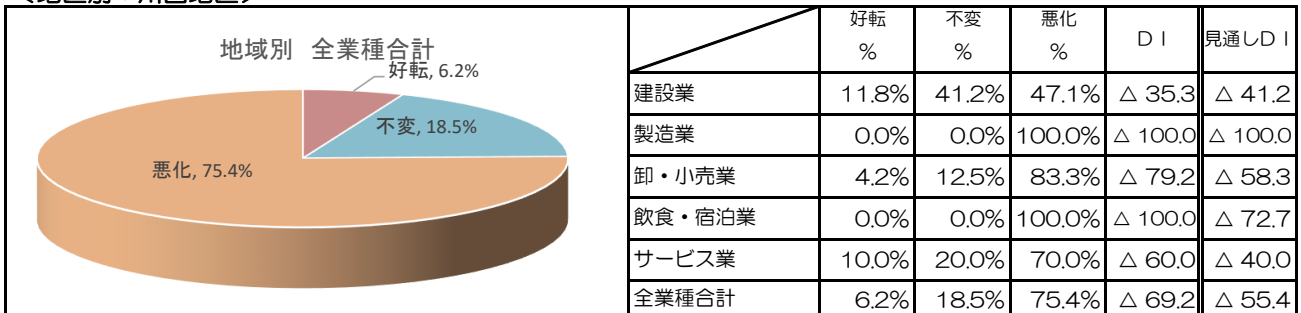
業種別景況判断の推移(市内全体)



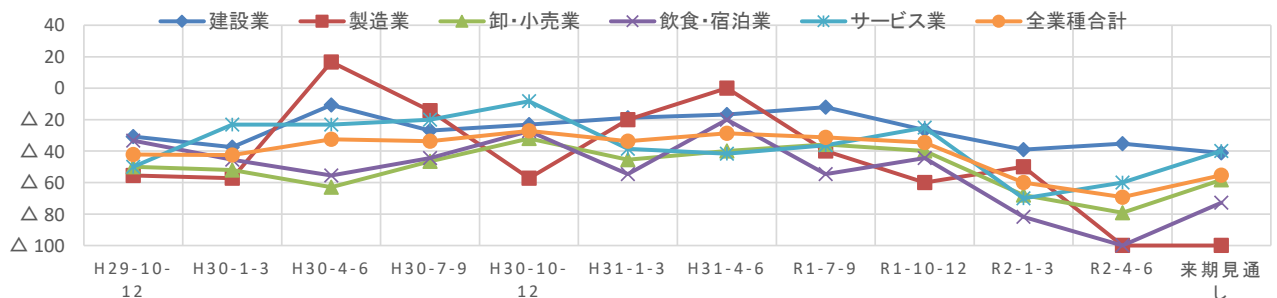
<コメント>

十日町市内全体の今期の景況判断は、全業種DI値で△69.3ポイントで、前回調査時よりも3.6ポイントの悪化であった。建設業のみ前回調査時よりも好転であったが、その他の業種は悪化が示されており、多くの業種にて新型コロナウイルス感染症の影響があったものと推測できる。来期見通しにおいて全ての業種で今期よりも好転予測があり、今後の動向に注視したい。

<地区別：川西地区>



業種別景況判断の推移(地区別)



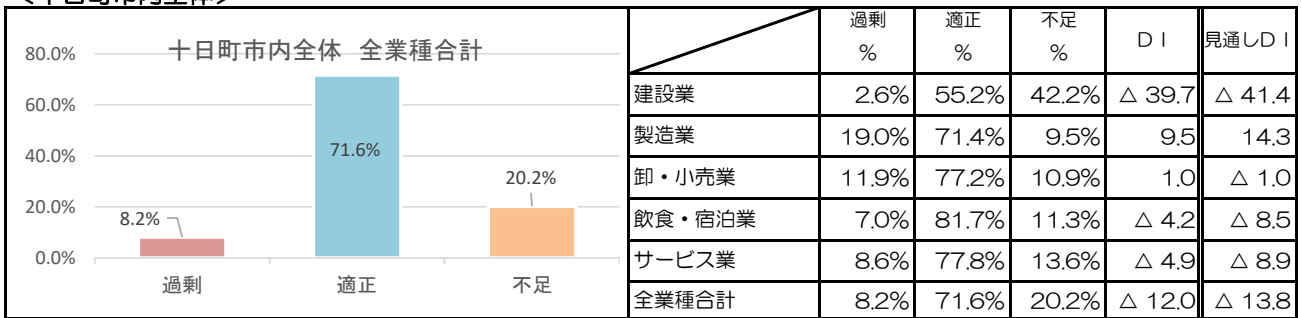
<コメント>

川西地域の景況判断としては全業種で△69.2ポイントの悪化を示す結果となっている。中でも製造業、飲食・宿泊業の景況感悪化が顕著となっている。来期見通しとしては全体的に13.8ポイントの改善が予想されている。

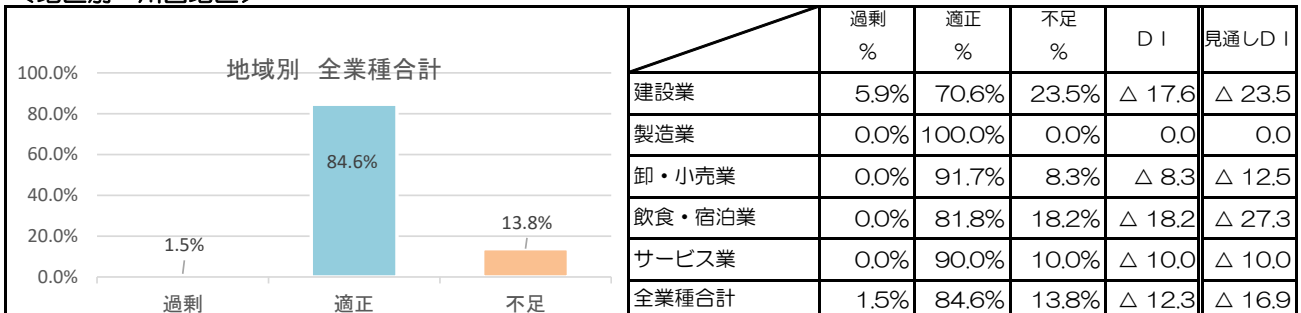
7. 従業員数について

- ・4月～6月の従業員数は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



<地区別：川西地区>

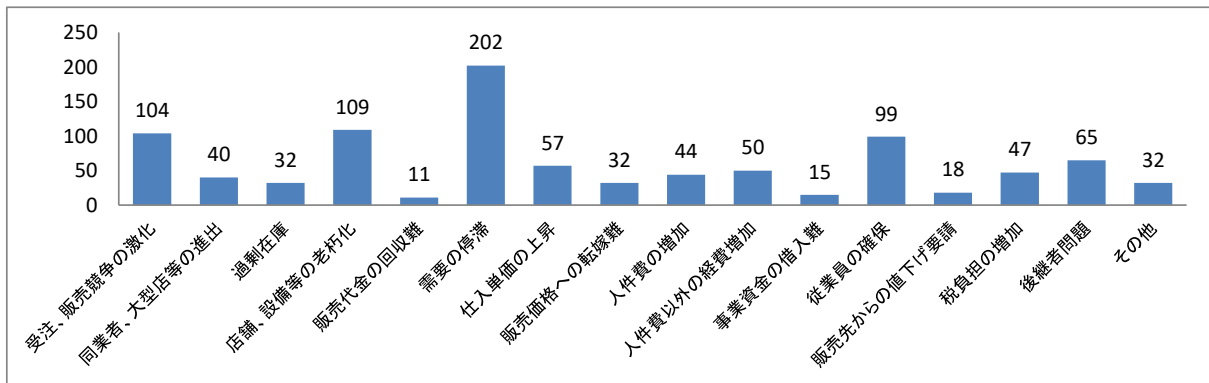


<コメント>

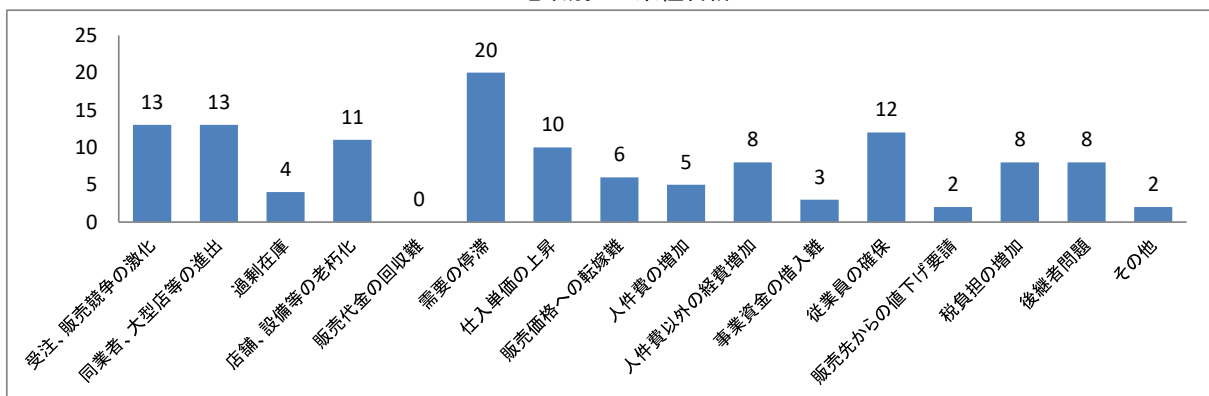
今期の従業員数（雇用動向）は、市内全体で8.2%の過剰と20.2%不足があり、特に建設業での不足が大きく出ている。川西地区においても建設業を中心としたほとんどの業種において人材不足を感じている事業所が多い中、一方で製造業については現状の人材数が適正であるとの見方を示している。

8. 経営上の問題点（上位3つ）：4月～6月

十日町市内全体 全業種合計



地域別 全業種合計



<コメント>

今期調査での経営上の問題点は、1位が「需要の停滞」2位が「店舗、設備等の老朽化」3位が「受注、販売競争の激化」であった。次いで多いのが「従業員の確保」であり、3位と4位の回答数も僅差であり、人材不足が今後の地域の課題と言えそうである。
川西地域内の経営上の問題点は、1位が「需要の停滞」2位が「受注、販売競争の激化」、「同業者、大型店等の進出」3位が「従業員の確保」と続いている。

9. 地区の景況概要

・4月～6月時点での全体概況は

<p>【建設業】 建設業においては他業種と比較して新型コロナウイルス感染拡大の影響による悪化傾向が少ない状況にあるが、来期見通しの上では今後漸次的に悪化することを見込んでいる。また、経営上の問題点としては1位「従業員の確保」2位「同業者、大型店等の進出」3位「受注、販売競争の激化」等が挙げられている。前回調査より「需要の停滞」を課題とする事業所が減少となった代わりに「従業員の確保」を意識する事業所が増加している。</p>
<p>【製造業】 製造業においては大きな支出の一つである仕入単価については不変であるとされているが、売上及び採算の悪化が表れている。従業員数においては今回の調査では唯一、適性な人手を有しているとのことである。経営上の問題点としては1位「人件費以外の経費増加」2位「過剰在庫」「店舗、設備等の老朽化」「需要の停滞」「仕入単価の上昇」を挙げている。景況判断については現状と今後どちらも悪化との見方を示している。</p>
<p>【卸・小売業】 卸・小売業においては全体的に大きな悪化との回答が多くなっている。経営上の問題点としては1位「需要の停滞」2位「受注、販売競争の激化」3位「同業者、大型店等の進出」が挙げられ、順位については前回調査と同様の内容となっている。売上の減少傾向については飲食・宿泊業に次いで減少幅が大きくなっている。</p>
<p>【飲食・宿泊業】 飲食・宿泊業においては新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受けた業種とされており、全般的に大きな悪化傾向となっている。経営上の問題点は1位「需要の停滞」2位「店舗、設備等の老朽化」3位「仕入単価の上昇」等が挙げられており、順位は前回調査と同様となっている。売上や採算等の項目において調査対象事業者の全てが減少を示すなど、世相の状況を色濃く示しているといえる。</p>
<p>【サービス業】 サービス業も全体的に悪化との回答が多いが、仕入単価では全業種の中で唯一改善傾向となっている。経営上の問題点としては前回同様に1位である「需要の停滞」、「店舗設備等の老朽化」に次いで、2位は「受注、販売競争の激化」「同業者、大型店等の進出」が挙げられている。事業所の持つ課題に関しては前回調査と同様の順位となっており、解決まである程度時間を要することが予想される。</p>